

一般飲食店における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	21~22	キッチン内の冷蔵庫へビール瓶を補充している際、左手で持っていたビール瓶が滑り落ちてしまい、コールドテーブルに当たり割れた際、その衝撃で瓶の破片が飛び散り、左手首を切ってしまい、出血した。	23	—
1	20~21	フロアにおける後片付け作業中、テーブルクロスとの交換後に、テーブル中央へ載せるターンテーブル（円形、直径68cm、重さ17kg）を両手で抱えテーブルに載せようとした際に、誤って手を滑らせターンテーブルが落下し、左足親指の上にターンテーブルが直撃した。	28~29	10
2	15~16	店内キッチンにて、換気口のフィルターを外して脚立から下りる時、誤って足が滑り落下し、臀部を床で強打した。尾てい骨骨折と診断された。	50	—
2	21~22	本店厨房内にて、閉店時の掃除作業中にまな板（幅89cm、長さ22cm、厚み3cm）を洗って調理台の上に置いていたところ、調理台が濡れていたため、まな板が滑り落ちて左足親指に直撃し骨折した。	34~39	50
2	16~17	被災者（以下、甲という）が、レストランホールにて、レジ機器の操作をしていたところ、レジ機器を載せた棚板が不安定だったため外れ、落下したレジ機器が甲の右膝に当たり負傷した。	24	1~9
2	15~16	事業場内の調理場の洗い場で、野菜を切ろうとした時、作業台の上にあるまな板が不安定な置き方であったため、まな板が右足の親指の付け根に落下し負傷（骨折）した。（まな板の大きさは、横約1m、縦約40cm、厚さ約3cm、重さ約10kgのものである。）	36~39	10
		調理場で片付けをしている時に、横に立てかけてあったまな板（7kg）が倒れてき		10

3	17~18	て、左足の親指に落ちてけがをした。	34	~ 29
4	10~ 11	調理場で朝の仕込み作業中、作業スペースを増やすためシンク上部にふたとして置いていた鉄板を、作業が終了したので元の場所に戻そうと持ち上げた際に手が滑り、鉄板が足の上に落ちた。	70	~ 999
5	10~ 11	店舗バックヤードにて、大きくて重たい氷をストックーに入れる為に持ち上げたところ、ストッカーに乗り上げた際にバランスを崩し、左脇腹がストッカーに当たり骨折した。	68	~ 299
7	20~21	店内客席フロアにて、お盆に乗せた土鍋料理を提供する際、お盆のバランスを崩し、料理が足にかかり負傷した。	19	10 ~ 29
7	16~17	保育施設の調理場で、茹でた食材が入っている鍋を持って移動したところ、床が油や水で濡れており転倒をした。これにより、左腕全体、ひざ、背部・胸部の一部に熱傷を負った。	20	30 ~ 49
7	10~11	当社厨房の冷凍室で1m90cm位の棚から冷凍してある食品の箱を取ろうとして手をかけたところ、3個重ねてあった箱が右足の上に同時に落ちてきて被災した。	76	10 ~ 29
7	14~15	ドリンクカウンター内に於いてドリンクを作成中ビール用ガスボンベに接触し、ガスボンベが倒れ、左足小指に当たり、骨折した。	22	50 ~ 99
7	23~ 24	店内にて食材を冷凍庫へ移す作業をしていた際に、誤って冷凍状態の肉のパックの塊を落としてしまい、左足の小指に当たってしまった。	23	30 ~ 49
7	22~ 23	店外に設置してあるお客様が利用する椅子を片付けているときに、椅子が手から滑落して足元へ落下し、その際に右足親指を骨折した。	25	10 ~ 29
	13~	店舗内において、調理中（たこ焼きを焼いているとき）、焼いている生地が飛ん		10

7	14	で、不意に右目に入った。	27	～ 29
9	10～ 11	被災者は直径約20cmの円筒状の出汁ポットに入っている煮詰まった出汁をシンクに捨てようとしていた、被災者がポットを傾けていたところ手が滑りポットが落下、その際にこぼれた出汁（温度約80℃）が右手、右足、腹部にかかり負傷した。	63	10 ～ 29
10	20～ 21	レストラン調理場で、調理をする為に包丁を用いていたところ、手を滑らせてしまい、包丁が落下。右足の甲に包丁が突き刺さった。	15	50 ～ 99
10	14～ 15	店内にて、グリル（60cm×60cmの肉を焼く鉄板）の清掃をしている際に、誤ってグリルを左足の上に落としてしまった。	20	1～ 9
10	5～6	厨房内にて、冷凍してあったガラ1箱を分離させるため、箱ごと床に落下させたところ、誤って自分の右足先に落としてしまい、右足親指先を痛めてしまった。大した事はないだろうと、勤務終了まで勤務し帰宅、睡眠をとり夕方起床したところ、ひどい痛みと腫れていたため、受診した。	36	10 ～ 29
10	14～ 15	店内でランチビュッフェ用の長テーブル（約10kg）を下げていて、立てて収納するときに手が滑ってしまい右足に落とした。これにより、右足親指を骨折してしまった。	23	—
10	14～ 15	調理場を整理している最中に包丁ケースが落ち、その際に落下は目視していないが、足下に包丁が落ちていたのと、左足に激痛があり中の白い部分が見えていた。	46	—
12	12～13	当社店舗裏の廃棄物置場に於いて、廃棄する発泡スチロールの容器（縦約30cm、横約45cm、高さ約20cm）を片付けていたところ、室外の冷凍機（縦約60cm、横約1.2m、高さ約1m）の上に3段積みとして積んでいた発泡スチロールが突風にあおられて崩れた際、発泡スチロールの上に重し用として載せていたタイルレンガ（約3kg）が、約1.6mの高さより右足に落下し、親指等を負傷したものである。	45	10 ～ 29
		被災者が、壁に設置されている棚上のコーヒーカップを取ろうと棚の扉を開けた際に棚が落下し、棚が額の右上に接触し、幅約5cm、深さ3mmを切った。現場にいた		30

12	11~12	係員と主任が被災者を椅子へ座らせて応急処置をし、その後、救急車で病院へ搬送した。棚の大きさは幅120cm、奥行35cm、高さ60cm、重さは15kg程であり、ビスの設置がゆるんで落下したと推測される。	60	~
12	20~21	店舗地下冷凍庫にて在庫確認中、冷凍庫の中の箱から出してあったチキンが不安定だった為、チキンが落下し、落下したチキンを取ろうとした際に、チキンに左手中指が挟まれ受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、よくならなかった為、後日病院へ行った。	19	30 ~ 49
12	11~12	店舗休憩室において、業務に入る前にシフト等の確認を行っていた。ロッカーの上においていた飯台が落下し、眉間から左こめかみにかけて当たり負傷したものである。	38	10 ~ 29
12	21~22	当事業場のウォッシャーで食器等を洗浄したあと、拭き上げ場までラックで運んでいた。その際、他の調理器具に体が触れて、鉄板が落下し、足の指に直撃した。	18	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html